

授業科目名： 病弱児・者の心理 ・生理・病理	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：南風野 久子 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)	・2022年度より明治学院大学 病弱教育総論担当 ・2022年度より関東学院大学 病弱の教育Ⅰ，Ⅱ担当		
科目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目		
「学位授与の方針」との関係 ・問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 ・共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ 病弱児の疾病の種類、原因そして程度は、複雑多岐にわたり一人ひとりの示す病状や性格、行動上の問題も極めて複雑であるが、身体的症状として認められている疾病や障害の中には心理的原因に由来しているものは少なくない。彼らは医療的制限が加えられていることから、心のあせり、情緒的不安定あるいは心理的葛藤などが生じてくることが予想されるからである。病弱児の心理を中心に学修する。			
授業の概要 (1) 病弱・身体虚弱児の心理・生理・病理を理解するに当って、個々の疾患に関する基礎知識を理解する。 (2) 病弱児の置かれている環境(家庭、学校、医療施設など)について理解する。 (3) 病弱児が示す不適応行動は、適切な指導や治療によって改善が期待できることを理解する。			
授業計画 第1回：病弱・身体虚弱とその分類 第2回：用語および定義、分類 第3回：病虚弱児教育の対象 第4回：心理的特性 ①身体的条件、②適応と欲求不満、③両親の態度 第5回：生理的特性 第6回：病理的特性 第7回：知能と性格行動 第8回：学習上の問題 ①学習空白、②身体活動の制限 第9回：学習上の問題 第10回：学習上の配慮 第11回：パーソナリティーの形成 ①関係する要因 第12回：パーソナリティーの形成 ②心理的援助 第13回：社会性の発達 ①親の養育態度 第14回：社会性の発達 ②マターナル・デプリベーション			

第15回：重症心身障害児の心理的特性（コミュニケーション、行動、発達など）
定期試験

教科書

- (1) 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所『特別支援教育の基礎・基本 2020』
新学習指導要領対応 ジアース教育新社
- (2) 文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説（自立活動編）』
開隆堂

参考文献

- (1) 全国特別支援学校病弱校長会『病気の子どものための教育必携』ジアース教育新社
- (2) 日本育療学会標準『病弱児の教育』テキスト ジアース教育新社

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。